

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空英語(TOEIC)セミナーⅡ (TOEIC Seminar Ⅱ)		授業コード	C194451
担当教員名	吉川 知子、ダレン ウォール		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分		単位数	1	
履修上の注意または履修条件	TOEICのIPまたは公開テストを受験した事がありスコアを提示できること。(ない場合は応相談)□			
受講心得	TOEICスコアを本気で上げたいと願い積極的に自分の間違いから学ぼうとすること。□			
教科書	プリントで対応			
参考文献及び指定図書				
関連科目				

授業の目的	TOEICスコアを伸ばす□
授業の概要	教科書に沿って問題を解き、間違った箇所の確認がメイン。問題の解き方や必要な語彙や文法の習得と共にTOEICテスト受験にとって重要なこのテストの出題傾向や問題への慣れを各講義内でペア、グループワークも含め高めていく□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週 : vocab 1 unit 1	
第2週 : vocab 2 unit 2	
第3週 : vocab 3 unit 3	
第4週 : vocab 4 unit 4	
第5週 : vocab 5 unit 5	
第6週 : vocab 6 unit 6	
第7週 : mid-term test	
第8週 : vocab 7	

unit 7	
第9週：vocab 8 unit 8	
第10週：vocab 9 unit 9	
第11週：vocab 10 unit 10	
第12週：vocab 11 unit 11	
第13週：vocab 12 unit 12	
第14週：vocab 13 unit 13	
第15週：vocab 14 unit 14	
第16週：期末試験	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	
備考	第9回目のテストは第10回から15回までの講義内に変更となる場合があります。講義の進度により日程が決定しますので注意してください。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	間違いから学ぼうとする姿勢を持つ。
【知識・理解】	講義内または宿題、自習などで得た知識を駆使する。
【技能・表現・コミュニケーション】	周りの学生と一緒にコミュニケーションを図りながら講義に参加する。
【思考・判断・創造】	講義内で習得したものを実際にいかす。

○成績評価基準(合計100点)		合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)

<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	15点		

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	